

水戸市環境基本計画（第3次）

水戸市環境基本計画（第3次）

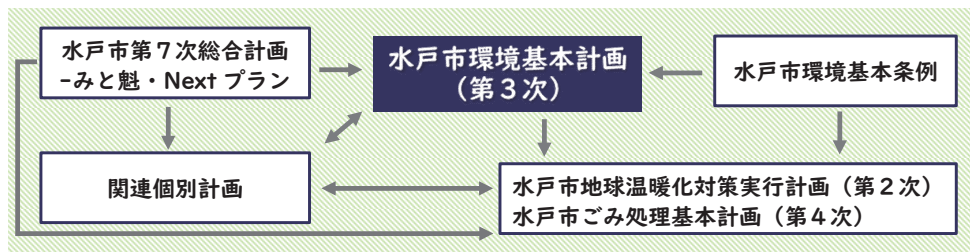
2024（令和6）年度～2030（令和12）年度



1 水戸市環境基本計画（第3次）とは

水戸市環境基本計画（第3次）は、水戸市の環境保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本となる計画です。

計画の位置付け

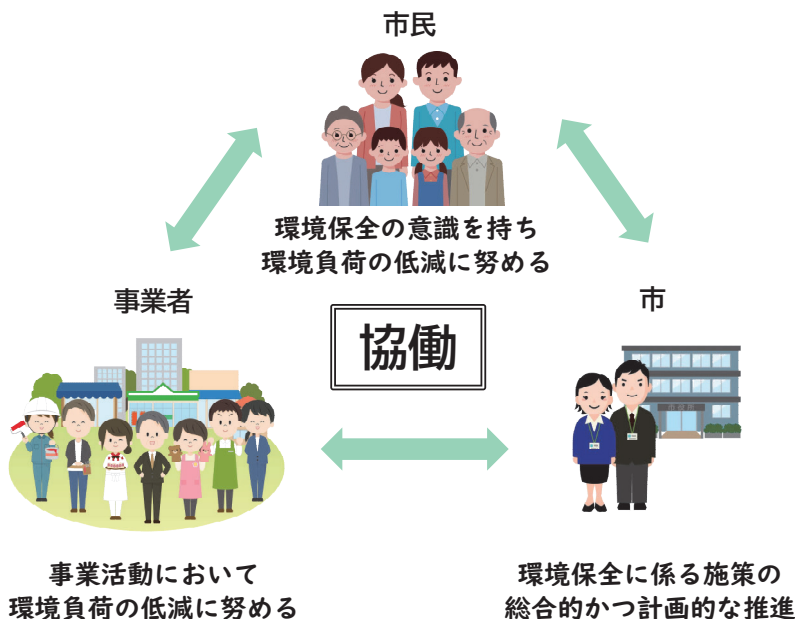


計画の期間

2024（令和6）年度～2030（令和12）年度

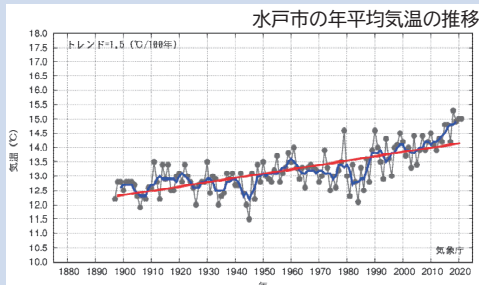
計画の推進主体

市民、事業者、市がそれぞれの役割のもと、互いに連携・協力して計画の推進を図ります。



2 水戸市の環境の現状

気候変動



本市の年平均気温は、100年間で約1.5℃上昇しています。水戸市地球温暖化対策実行計画（第2次）において、2030年度の温室効果ガス排出量46パーセント削減を目標に設定し、地球温暖化対策に取り組んでいます。

循環型社会



2020年の清掃工場えこみっとの供用開始にあわせ、プラスチック製容器包装をはじめとした新たな分別品目の回収を開始するなど、ごみの減量化・再資源化に取り組んでおり、家庭ごみは減量傾向です。

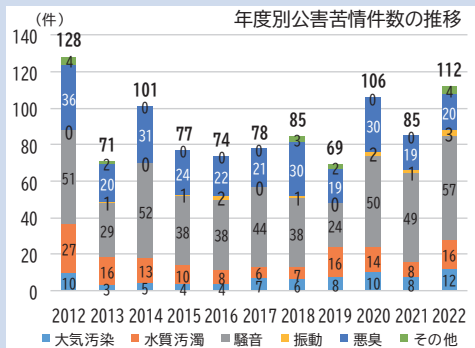
自然環境



本市は、西北部の緑地地帯や河川、千波湖など、豊かな自然環境を有し、そこに適応した動植物により生物多様性が保たれています。

一方、アライグマなどの特定外来生物の繁殖が確認され、問題となっています。

生活環境



公害に係る苦情件数は、年間100件程度に上ります。関係機関と連携した調査・監視や発生源対策に取り組んでいます。

協働による環境保全

本市では、義務教育課程9年間を通して、持続可能な開発のための教育「ESD」に取り組んでおり、子どもたちの発達段階に応じて、環境について学ぶ機会の充実を図っています。

また、水戸市環境フェアをはじめとした環境イベントや河川の清掃活動など、環境保全に係る様々な活動を市民、事業者と協働により実施しています。



3 目指す将来像と基本方針

豊かな水と緑を未来へつなぐ みんなでつくる持続可能なまち 水戸

市民が健康で安全に暮らすことのできる快適な生活環境を確保し、水と緑に囲まれた本市の自然環境を保護するとともに、これらを将来世代へ継承していくため、次の取組を推進します。

基本方針1 気候変動への対応

創エネや省エネなど、温室効果ガスを減らす取組（緩和策）を推進するとともに、自然災害や健康被害等の回避・軽減を図り（適応策）、緩和策と適応策の両輪による気候変動に対応したまちを目指します。

基本方針2 循環型社会形成の推進

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組を進め、環境負荷の少ない循環型社会の形成を推進します。また、不法投棄等の不正なごみ処理について、地域が一体となって防止に取り組みます。

基本方針3 豊かな自然環境の保全と共生

生物多様性の保全を図るとともに、千波湖、桜川等の水環境の保全・再生や緑の保全に取り組み、豊かな自然と人が共生するまちの実現を目指します。

基本方針4 快適な生活環境の保全・創出

公害の未然防止に取り組むなど、良好な生活環境の保全・創出を図ります。また、歴史的、文化的な資源を生かしたまちづくりやまちの美化を進めるなど、快適で豊かな環境づくりを推進します。

基本方針5 協働による環境保全の推進

環境教育や環境学習の機会の充実を図り、環境問題に対し自ら行動できる人材の育成に取り組みます。また、多様な主体とパートナーシップを形成し、協働による環境活動を推進します。

4 将来像実現に向けた施策の展開

基本方針

1

気候変動への対応



主な目標指標（2030年度）



市域からの二酸化炭素排出量

127.8万t-CO₂（2020年度） ▶▶▶ 85.0万t-CO₂



浸水被害箇所数

187箇所（2022年度） ▶▶▶ 110箇所

主な施策



創エネルギーの推進

住宅や事業所への太陽光発電の利用促進

水素やバイオマスなどの再生可能エネルギーの利用促進



省エネルギーの推進

デコ活の普及啓発、CO₂削減エコライフチャレンジの実施

公共施設へのLED照明の導入や次世代自動車への乗り換え



脱炭素まちづくりの推進

コンパクトなまちづくりの推進

利用しやすいバス路線の構築、自転車利用の促進



気候変動適応の推進

ハザードマップの作成など、自然災害対策の推進

クーリングシェルター指定など、熱中症対策の推進



本庁舎の太陽光発電



みとちゃり



クーリングシェルター

基本方針 2

循環型社会形成の推進



主な目標指標（2022年度→2030年度）

一人一日当たりのごみ排出量
1,002g ▶▶▶ 870g



【左】
みと食べきり運動協力店
【右】
きずなBOX

主な施策

ごみ減量化の推進

みと食べきり運動店の普及、30・10運動の促進など、食品ロスの削減
エコバッグ、マイボトルの利用促進によるプラスチックごみの削減

再資源化（リサイクル）の推進

プラスチック製容器包装をはじめとした現行の5種16分別の周知啓発や
使用済み小型家電の回収など、分別回収による再資源化の促進

適正な処理・運営の推進

パトロールや通報体制の強化などによる不法投棄防止
効率的なごみの収集・運搬、清掃工場えこみっとの適正な運営

基本方針 3

豊かな自然環境の保全と共生



主な目標指標（2022年度→2030年度）

千波湖の化学的酸素要求量（COD）（千波湖中央の年間75%値）
10.0mg/ℓ ▶▶▶ 8.0mg/ℓ 以下

都市公園の市民一人当たりの面積
12.0㎡ ▶▶▶ 12.5㎡



ホトケドジョウ



アライグマ

主な施策

生物多様性の保全

ホトケドジョウなど希少種の保護、アライグマなどの特定外来生物の防除

水環境の保全と整備

霞ヶ浦導水事業やビオトープの整備など、千波湖におけるアオコ発生抑制

緑の保全

公園・緑地の整備、森林の保全

基本方針 4

快適な生活環境の保全・創出



主な目標指標（2022年度→2030年度）

- 大気汚染に係る環境基準適合状況 適合 ▶▶▶ 適合
- 光化学オキシダント注意報の年間発令日数 0日 ▶▶▶ 0日

主な施策

- 公害の未然防止
大気・水・土壌環境の監視、騒音・振動・悪臭の防止
アスベストの適正処理に係る指導、PFASへの対応
- 良好なまちなみの維持向上
良好な市街地景観の形成や弘道館、水戸城跡周辺の魅力づくりの推進
- 環境美化の推進
看板やチラシの配布など、空き缶のポイ捨てや犬ふん放置の防止推進
那珂川水系クリーン作戦などによる水辺環境の美化

基本方針 5

協働による環境保全の推進



主な目標指標（2022年度→2030年度）

- 水戸市環境フェアをはじめとする環境イベントへの参加者数
3,156人 ▶▶▶ 10,000人

主な施策

- 環境教育・環境学習の充実
環境学習講座の実施やESDによる学校教育における環境教育の推進
水戸市環境フェアなど、誰もが参加者しやすい環境学習機会の充実
- 協働での環境活動
関係団体や大学などと連携した協働での環境保全活動の推進



【左/真ん中】
千波湖環境学習会
【右】
みとの自然ガイド
BOOK



【概要版】水戸市環境基本計画（第3次）令和6（2024）年11月発行

発行 水戸市

編集 生活環境部環境保全課

住所 〒310-8610 茨城県水戸市中央1-4-1

電話 029-224-1111（代表）



本編はこちらから